

第 6 回 国際土木委員会 議 事 概 要

1. 開催日時 : 2019 年 11 月 26 日 (火) 13:00~15:00
2. 場 所 : 赤坂インターシティコンファレンス 301
3. 出席者 : 別紙参照

4. 議事概要

(1) 委員長挨拶

(2) サミット参加報告について

10 月の北京サミットについて下記の報告があった。

① 概要、InfraRoom の動向 (buildingSMART Japan)

- ・参加者は、最大 1,500 名、オンライン配信は 4 万名が視聴された。
- ・メンバーは、新たに日本から株式会社竹中工務店が参加し、海外では Oracle が参加した。
- ・基調講演にて国連のアジェンダに対する buildingSMART の取り組みの説明があった。
- ・インフラルームについては、道路等の分野で IFC4 を拡張したものを制定し、IFC5 で統合をする。2020 年に IFC5 の制定を目指している。(IFC トンネルは、2021 年予定) 2021 年に検定を始め、ISO のアップデートを目指している。

<意見・質疑応答等>

IFC トンネルにおいて沈埋トンネルは、韓国から対象とするように要望があったが、開削と同じような表現方法が可能であるために対象範囲外となった。

② ConstructionRoom の報告 (buildingSMART Japan)

- ・計 8 セッション実施し、4D、5D、それに関わる BIM をテーマに実施した。
- ・BIM モデルを中心としたドキュメントとの連携機能、5D としてコストの表示機能。また、API を通じて様々なシステムと拡張が可能であるソフトウェアの紹介と中国のチャイナレールウェイの傘下にあるゼネコンが BIM の設計図を製作まで利用し、それを組み付けるロジスティクスに QR コードを利用し管理している事例の紹介があった。

③ Railway Room の動画について (事務局)

- ・サミットの最終日の Railway Room の活動報告において、フェーズ 1 の成果として公開された IFC の利活用イメージの動画が紹介された。

<意見・質疑応答等>

Railway Room の情報・資料も共有してほしい。

(3) 道路小委員会の報告

- ・道路小委員会設置の経緯と検討状況について報告された。
- ・小委員会は bSI の道路のエキスパートパネルと併せて実施していく。

(4) 中国における BIM/CIM 概況の情報提供について

- ・3 月に日建連と建コン協で中国の BIM/CIM の現状を視察した。
- ・中国における BIM の推進方法は国の基準として基本的な仕様を設定し、事業者や業界団体ごとに、その基準に則した詳細基準を策定し進めている。
- ・今回視察を通じて多くの BIM/CIM 関係者とコネクションを築くことができ有意義であった。

(5) その他

<意見・質疑応答等>

- ・アセットマネジメントについて、インフラルームで 5 年ほど前に議論があり、レポートが存在する。また、ISO19650 の動向を今後注視する必要がある。